

授業科目名 <英訳>	中国北朝史の再構築にむけて The Reconstruction of the History of the Northern Dynasties in China			担当者氏名	人文科学研究所 助教 藤井 律之				
群	拡大群	系列	人社系	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講期	前期	受講定員	10人	配当学年	1回生	対象学生	全学向		
曜時限	金4			教室	総合研究4号館/人文科学研究所本館 講義室 (112号室) (本部構内)				
キーワード	中国史 / 東洋史 / 中世史 / 南北朝 / 隋唐帝国								
【授業の概要・目的】									
<p>中国の南北朝時代は魏晉と隋唐時代間に位置する。前後の時代はかたや三国志、かたや遣隋使・遣唐使によって、われわれになじみ深いものではあるが、南北朝時代の知名度はさして高くない。南北朝のうち、北朝は隋唐帝国の母胎となったのであるが、近年、石刻史料の増加およびそれに伴う文献史料の再検討により、通説が改められつつある。本ゼミでは、通説がどのように書き換えられたか、また書き換えられるのかを、実例を挙げつつ紹介し、それを通じて受講者に歴史研究のおもしろさを体感していただきたいと考えている。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>1.中国南北朝時代とは 2.主要な史料とその特徴 3.北魏の「主宰者」 4.北魏の支配者層 5.北魏の国家体制 6.「漢化政策」と洛陽遷都 7.六鎮の乱と北魏の分裂 8.隋唐帝国への助走</p> <p>2以降については、1～2週にわたって講義する予定。</p>									
【履修制限の方法】									
受講定員を超える受講申込があった場合は無作為に抽選を行います。									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
平常点、ならびにレポートなどにより評価する。									
【教科書】									
プリントを適宜配布する。									
【参考書等】									
(参考書) 授業中に紹介する									
【その他(授業外学習の指示等)】									
専門的知識は全く必要なし。世界史の知識がない方でも問題なし(むしろ歓迎します)。ただし、漢字辞書を持っていることが望ましい(電子辞書でも可)									